



EDS TX series

取扱説明書



取扱説明書の内容は 2024 年 3 月末時点での APP 仕様に従っています。
APP のアップデート等により画面表示や機能が変更される場合があります。

■ 保証書	6
■ 品質保証規定	7
■ 保証内容	7
■ 保証期間および保証対象	7
■ 保証の適用除外	7
■ 保証修理の受け方	8
■ その他	8
■ アフターサービスについて	9
■ 廃棄について	10
■ その他の注意事項	11
■ APP の利用権限について	11
■ 電波干渉について	11
■ 動作環境温度について	11
■ 航空機輸送について	11

■ 部品互換性について	12
■ 対応変速段数について	13
■ APP 操作 (TX・OX 共通)	14
■ APP ダウンロード	14
■ アカウント作成	15
■ 言語切り替え	17
■ TX 組み付け・変速調整	18
■ 各部名称	18
■ インジケータランプ	21
■ デバイスシステムの起動とシャットダウン	23
■ デバイスシステムのペアリング	24
■ APP へのデバイスシステム登録	26
■ APP とデバイスシステムのペアリング	28
■ 各製品の組み付け	30
■ プリフター組み付け	30
■ FD 組み付け	30
■ RD 組み付け	31
■ チェーン長の設定	31
■ 変速調整 (APP を使用)	32
■ 変速段数の設定	32
■ FD の初期校正 (原点調整)	34

■ RD の初期校正 (原点調整)	36
■ FD の停止位置調整 (変速調整)	37
■ FD の可動範囲制限	39
■ RD の停止位置調整 (変速調整)	40
■ RD とスプロケットの間隔調整	42
■ RD の可動範囲制限	42
■ APP 機能説明	43
■ バッテリー残量確認	43
■ 変速モード切替 (TX のみ)	45
■ ファームウェアのアップグレード	46
■ スイッチ配置変更	47
■ 使用モードの切り替え	50
■ 充電 (ディレクター)	51
■ 電池交換 (プリフター)	52
■ ブレーキレバーの初期位置調整 (ST-RA7000/7100-A のみ)	53

■ TX 油圧組み付け・油圧エア抜き	54
■ キャリパーアダプターの取付	54
■ プリフター（キャリパー）とホースの接続	55
■ ブリーディング（エア抜き）	56
■ ブレーキキャリパーの組み付け	59
■ ブレーキパッドの交換	60

品質保証書

商品名

お買い上げ年月日

年 月 日

保証責任者

ホダカ株式会社
埼玉県越谷市流通団地 1-1-9
TEL:084-985-2000(代)
FAX:048-985-1959(代)

HODAKA Authorized シール貼り付け

EDS 本体パッケージに貼り付けられている
「HODAKA Authorized」認証シールを
剥がすか切り取ってここに貼ってください

ご購入店名

※ 本ページを印刷してご使用ください

保証内容

この製品は、WHEELTOP 社の製品規格に基づき厳重な品質管理のもとで製造されています。取扱説明に従って、使用者が通常に使用したにも関わらず、万一品質上の不具合（瑕疵など）が発生したときは、品質保証規定に従って、無料修理（以下、保証修理という）を行います。なお、保証修理は補修または部品交換によって行います。

交換した不具合部品は当社の所有となります。

保証期間および保証対象

お買い上げ日より1年間以内にご申告のあった不具合、かつ初期購入者製品（1st オーナー製品）。

なお、保証期間経過後の修理は有料となります。

保証の適用除外

並行輸入された製品は、故障理由を問わず保証修理の対象とはなりません。また、国内正規販売品であっても、以下の項目に該当するものは保証修理の対象となりません。（有料修理）

- ① 使用者の使用上の不注意によるもの。
- ② 衝突、転倒、道路の縁石等への乗り上げ、溝等への落下によるもの。
- ③ 法令の違反行為によって生じたもの。（2人乗り等）
- ④ 保守不備、整備不良または間違いにより生じたもの。
- ⑤ 使用者が構造、機能を改造または変更したため生じたもの。
- ⑥ 使用目的以外の駆使により生じたもの。
- ⑦ レンタルなど不特定多数で使用される場合。
- ⑧ 地震、落雷、火災、水害、公害、その他人災、天災、地変によって生じたもの。
- ⑨ 手入れ不良、保管場所の不適、および時の経過により生じた塗装面、メッキ面およびプラスチック部品等の自然退色。
- ⑩ 部品の通常の摩耗または疲労と認めたもの。
- ⑪ 一般に機能上に影響のない音や振動。
- ⑫ 製品の故障に起因し、発生する費用。（製品を自転車店に持ち込む為に要した費用等）
- ⑬ 通常の使用において自然に生じた摩耗及び品質の経年劣化。
- ⑭ 初期購入者（1st オーナー）以外の使用中に生じたもの。

保証修理の受け方

保証修理を依頼される場合は、お買い上げいただきました販売店または WHEELTOP 取扱い店に保証書と製品をお持ちいただき、保証修理をお申し出ください。なお、保証書の提示がない場合は保証修理を受けることができません。

保証書の字句等を書き換えた場合は無効となります。

保証書各記入欄（商品名、お買い上げ年月日、販売店名）の記入に不足、不備のあるものは無効となります。

HODAKA Authorized シールが貼り付けられていないものは無効となります。

品質保証は日本国内で使用される場合に適用されます。海外に持ち出された場合は、その時点で保証対象外となります。

その他

品質保証書は本書に明示した期間、条件に基づき保証修理をお約束するものです。

従って、保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

製品の性能を維持するための補修機能部品を原則として販売終了後2年間保有していますが、WHEELTOP 本社の意向により日本代理店が変更された場合はその限りではありません。

保証期間外の修理、補修部品は有料となります。

保証期間内の修理であっても、保証対象外の場合は有料での修理となります。

日常の点検および修理については、お買い上げの販売店にお申し出ください。

アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店か弊社にお問い合わせください。

FD および RD に内蔵されているリチウムポリマーバッテリーは、資源有効利用促進法に基づき、リサイクルが義務付けられています。

FD および RD を廃棄する場合は、廃棄希望である旨を明記の上、送料発払いにて下記宛てにお送りください。

〒343-8520

埼玉県越谷市流通団地 1-1-9

ホダカ株式会社 企画開発部 WHEELTOP EDS バッテリー廃棄係り

TEL：048-985-2000

その他の部品に関しては、お住まいの地域の廃棄物処理方法に従って廃棄をお願い致します。

APP の利用権限について

APP の不正使用が認められたアカウントは、WHEELTOP によって利用権限を無効にする場合があります。

電波干渉について

EDS の無線通信に使用している 2.4GHz 帯 Bluetooth は電波干渉が発生する可能性があります。

電波干渉が発生すると、ペアリングが不安定になったり、変速ボタンの指示が上手くディレラーで受信できなくなりますが、多くの場合はその場から EDS を遠ざけることによって問題が解決します。

もし、場所を変えても問題が解決しない場合は、電波干渉ではなく別の問題が原因の可能性もありますので、カスタマーサービスにご連絡ください。

動作環境温度について

動作環境温度は -10 ～ 50°C です。

動作環境温度の上限もしくは下限に近い状態での長時間のご使用は、部品故障の原因となりますので控えてください。

航空機輸送について

リチウム電池は国際航空運送協会 (IATA) の定める規則により危険物とみなされ、本来は航空機輸送はできません。

ただし、旅客の移動に必要と認められたもの、かつバッテリー容量が十分に小さいものは例外的に航空機輸送が認められる場合があります。

機内預け入れ手荷物、もしくは機内持ち込み手荷物として EDS を輸送出来るかの最終判断は各航空会社によりますので、航空機輸送をご利用される際は、事前にご利用予定の航空会社にご確認下さい。

シリーズ	部品型番	バッテリー種別	バッテリー容量
TX	FD-RA7000-A	リチウムポリマー	3.7Wh
	RD-RA6000-SGS		5.92Wh
	RD-RA6100-SGS		
OX	RD-22041-SGS		5.92Wh
	RD-22041-SS		
	RD-22041-SS		

※EDS シリーズのリチウムポリマーバッテリーは機器本体に内蔵されているため、取り外しは出来ません。

- EDS と組み合わせる部品 (クランク、チェーン、スプロケット) は SHIMANO 製品を推奨いたします。
- ブランド混合使用は避けてください。変速性能が著しく低下したり部品が破損する恐れがあります。
- EDS は幅広い部品互換性を持っていますが、どのような部品の組み合わせでも動作を保証するわけではありません。
- 組立整備の段階で動作に問題がないか十分にご確認の上ご使用ください。

- EDS シリーズは独自の部品設計と細かい電子制御によって 7 ～ 13 段の後変速に対応しています。

しかしながら、特に幅の厚い変速段数の少ないチェーン (7 ～ 8 段変速用チェーンや 9 段変速用チェーン) を使用した場合、チェーンと FD ガイドプレートの接触が避けられない場合があります。

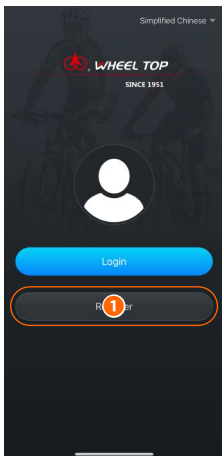
- チェーンと FD ガイドプレートが軽く接触する程度 (擦れる) であれば問題ありませんが、強く接触する場合はそのギア位置での使用は避けてください。



↑ for Android

APP ダウンロード

- iOS⇒APP Store で「WHEELTOP」と検索
- Android⇒Google Play で「WHEELTOP」と検索、もしくは左記 QR コードからダウンロード

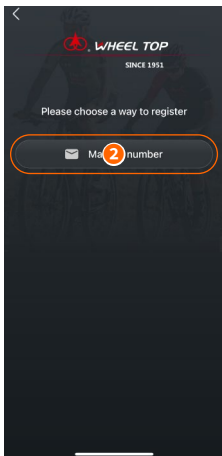


アカウント作成

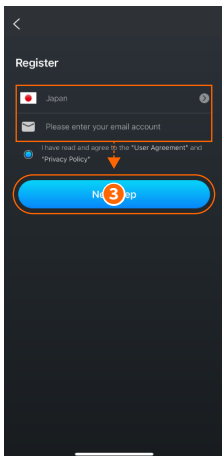
APP ご利用に際してはアカウントの作成が必要となります。

APP 起動後、下記手順に従ってアカウントを作成してください。

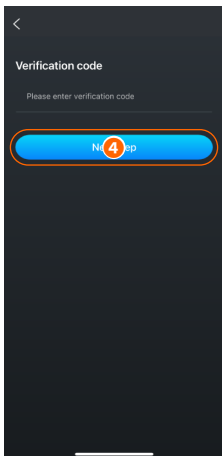
- ① 登録 (Register) をタップします。



- ② メールボックスナンバー (Mailbox number) をタップして入力画面に進みます。



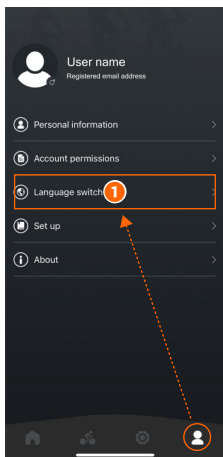
- ③ 国籍を選択し、アカウント登録に使用するメールアドレスを入力、次へ (Next step) をタップします。



- ④ 入力したメールアドレスに認証コードが記載されたメールが届くので、その認証コードを入力し次へ (Next step) をタップします。

※認証コードが記載されたメールが届くまで時間が掛かる場合があります。

1日経っても届かない場合は、まず迷惑メールフォルダに振り分けられていないかご確認頂き、届いていない場合はホダカ株式会社までお問い合わせください。



言語切り替え

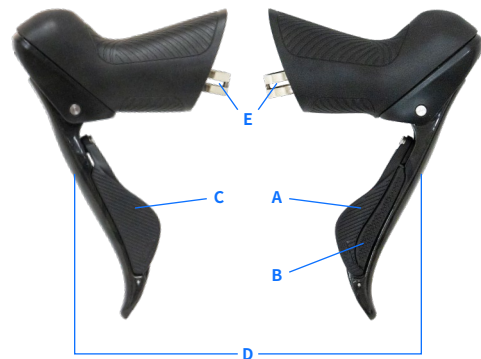
APP の言語は切り替えが可能です。

- ① アカウント管理画面の言語切り替え (Language switch) をタップします。

※言語を切り替える場合、APP の再起動が必要となります。

※日本語は順次対応する予定です。

■ プリフター



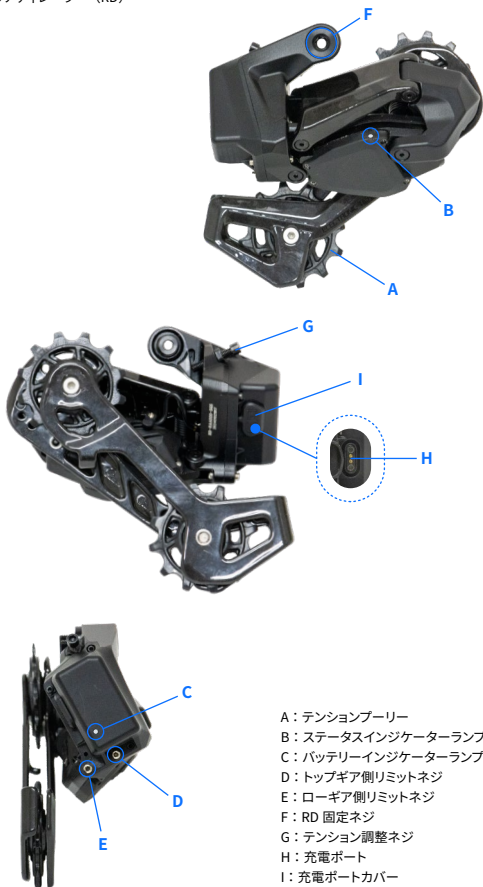
- A：右レバー変速ボタン大
- B：右レバー変速ボタン小
- C：左レバー変速ボタン
- D：ブレーキレバー
- E：プリフター固定バンド
- F：バッテリーカバー
- G：プリフター固定ネジ
- H：ブラケットフード

■ フロントディレクター (FD)



- A: ステータスインジケータランプ
- B: FD 固定ネジ
- C: ガイドプレート
- D: ガイドプレート位置調整ネジ
- E: アウターギア側リミットネジ
- F: 充電ポート
- G: 充電ポートカバー
- H: バッテリーインジケータランプ
- I: サポートネジ

■ リアディレクター (RD)



- A: テンションプーリー
- B: ステータスインジケータランプ
- C: バッテリーインジケータランプ
- D: トップギア側リミットネジ
- E: ローギア側リミットネジ
- F: RD 固定ネジ
- G: テンション調整ネジ
- H: 充電ポート
- I: 充電ポートカバー

- プリフターにはステータスインジケータランプ(下図青○)が1つ、ディレラーにはステータスインジケータランプとバッテリーインジケータランプ(下図橙○)が1つずつあります。
- ディレラーのバッテリーインジケータランプは充電中に赤く点灯します。

FD



RD



■ ステータスインジケータランプの表示は以下の通りです。

- 青：ペアリングモード、調整モード
- 緑：変速モード（正常電圧）、ペアリング完了表示
- 黄：変速モード（電圧低下）
- 赤：変速モード（バッテリー切れ）
- 白：動作エラー

プリフター

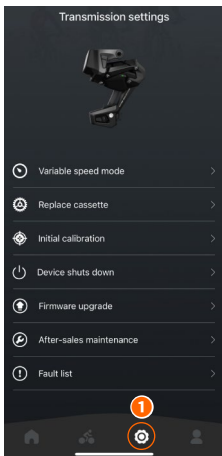


RD



FD





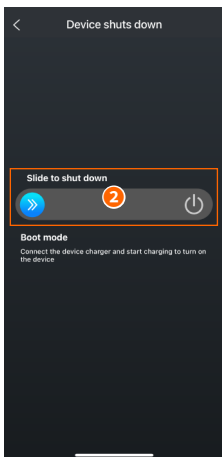
起動

- デバイスシャットダウンされている FD および RD は電源に接続された充電ケーブルを接続することで起動します。

シャットダウン

デバイスシャットダウンすることでバッテリーの消費を抑えることができます。

- ① トランスミッション設定画面のデバイスシャットダウンをタップします。



- ② 青いボタンを右にスワイプするとデバイスをシャットダウンします。

※シャットダウンされたデバイスを起動するためには電源に接続された充電ケーブルが必要です。起動に必要な設備がない状態ではシャットダウンしないでください。

- 電源に接続された充電ケーブルを RD の充電ポートに接続し取り外すと、ステータスインジケータランプが青く光りペアリングモードになります。

- 電源に接続された充電ケーブルを FD の充電ポートに接続し取り外すと、ステータスインジケータランプが青く光りペアリングモードになります。

- RD と FD のペアリングが完了するとそれぞれのステータスインジケータランプが緑に光ります。その後は再び RD のステータスインジケータランプが青く光ります。

- 左右ブリフターのバッテリーカバーを取り外して、コイン電池を抜き取り、再度電池を入れるとステータスインジケータランプが青く光りペアリングモードになります。(電池交換の詳しい説明は「電池交換 (ブリフター) をご参照ください」)

- RD とブリフターのペアリングが完了するとそれぞれのステータスインジケータランプが緑に光ります。同じ手順で残りのブリフターもペアリングします。

- 全てのペアリングが完了したら左右ブリフターの変速ボタンを押してペアリングモードを終了します。

※新品の EDS はシステムペアリング済みですがシャットダウンされているため動作しません。「デバイス起動」の手順で FD、RD を起動してください。

※ペアリングを実行するときは、デバイス同士が遮蔽されていないようにしてください。

※左右ブリフター、FD を別部品に交換した場合は、その部品と RD をペアリングして下さい。RD を交換した場合は、最初からペアリングの手順を実行してください。

※ペアリング中にエラーが発生したり、ペアリングが上手くいかないときは、再度最初からペアリングの手順を実行してください。

※ペアリング中に 10 秒以上次の動作が無いと、自動的にペアリングモードが終了されます。

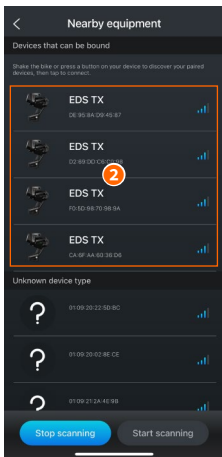
※近くに複数の EDS システムがある場合は、順番に充電やペアリングを行ってください。さもないとシステムを跨いで別システム同士のデバイスがペアリングされます。



APP にデバイスシステムを登録することで、以降登録リストからデバイスシステムを選択できるようになります。

登録リストには複数のデバイスシステムを登録することができます。

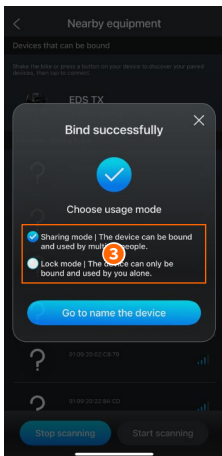
- ① ホーム画面下部の「+」マークをタップします。



- ② 周辺にある EDS の中から登録したいデバイスシステムを選択します。

※周辺にデバイスシステムが複数ある場合は、接続したい MAC アドレスのデバイスシステムを選択してください。MAC アドレスはパッケージに貼り付けられたシールに記載されています。

※登録したいデバイスシステムが表示されない場合は、対象のデバイスシステムに振動を与えて動作可能状態にするか、デバイス起動してください（デバイスの起動は「デバイス起動」項目をご参照ください）。



③ 使用モードを選択します。

※使用モードの選択は、そのデバイスシステムが最初にアカウント登録される場合のみ表示されます。

デバイスシステムと最初に紐付けられたアカウントがメインアカウントです。

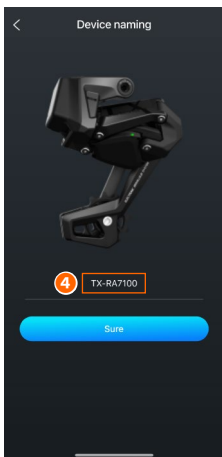
シェアリングモード (Sharing mode) : メインアカウント以外のアカウントも接続できます。

ロックモード (Lock mode) : メインアカウント以外は接続できません。

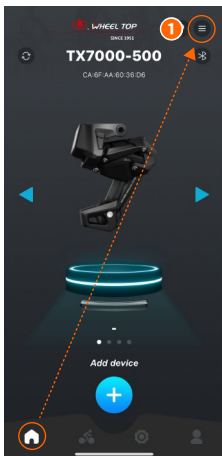
※使用モードは後で切り替えることも可能です。切り替えはメインアカウントで行います。

※ロックモードのまま紐付けられた APP アカウントに入れなくなった場合 (スマートフォンを紛失したり APP のログインパスワードを忘れた場合)、ロックモードが解除できず他のアカウントからもアクセスできないため、APP を通した設定が一切できなくなります。

もしそのような状態になった場合は、メーカーでのメインアカウント解除作業が必要となります。



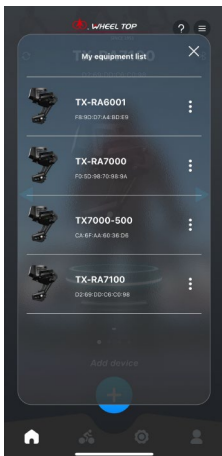
④ デバイスシステム名を 10 文字以内で入力し、決定ボタン (Sure) を押します。



登録リストの中から APP とペアリングする機器を選択しペアリングします。

※APP とペアリングするためには、まずデバイスシステム登録を行ってください。

- ① ホーム画面右上の登録リストをタップします。



- ② 登録リストの中からペアリングしたいデバイスシステムを選択します。



- ③ ホーム画面に表示されているデバイスシステム名がペアリングしたいものに切り替わっていることを確認し、右上の Bluetooth マークをタップしペアリングします。

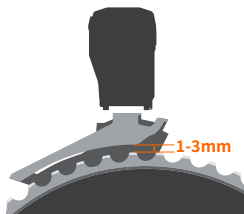
Bluetooth マークが青く光ればペアリング中です。

ブリフター組み付け

- (固定ネジ締め付けトルク 10-12Nm)

FD 組み付け

- FD ガイドプレートとアウターチェーンリングの隙間が **1-3mm** になるように取付位置を調整してください。
- 必要に応じて、FD 本体裏側にあるサポートネジの出代を調整してください。



※サポートネジはフレームに当てることでFDを安定させる機能があります。ただし、必ずフレームに当てなければならぬわけではありません。

※サポートネジの緩めすぎにご注意ください。必ず2回転以上はネジが掛かった状態にしてください。

※サポートネジの緩みが気になる場合は、低強度の緩み止め(ロックタイト222など)を塗布してください。

- FD ガイドプレートはチェーンリングと平行になるように取り付けてください。

(固定ネジ締め付けトルク 6Nm)



RD 組み付け

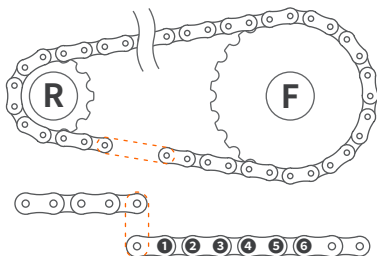
- (固定ネジ締め付けトルク 8-10Nm)

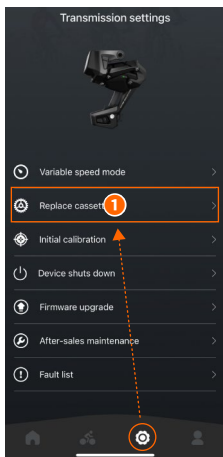
■ RD 組み付け後、RD が RD ハンガーに対してスムーズに前後にスイングするか確認してください。

もし動かない又は著しく動きが悪い場合は、RD を取り外し、付属のワッシャーを RD 固定ネジに入れて再度組み付けてください。

チェーン長の設定

- アウター × ローギア (RD 通さず) にチェーンを掛け、最短で接続できる長さ+2 ~ 4 リンク追加した長さに調整します。

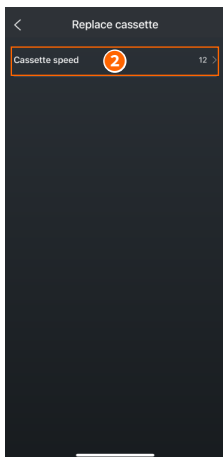




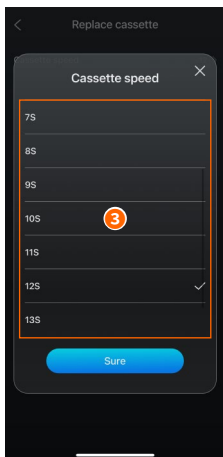
変速段数の設定

RD の変速段数を組み合わせるスプロケットに合わせて変更します。

- ① トランスミッション設定画面の変速段数設定 (Replace cassette) をタップします。



- ② 変速段数 (Cassette speed) をタップします。



- ③ 使用する変速段数をタップし決定を押してください。

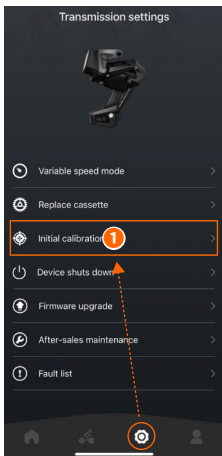
FD の初期校正 (原点調整)

- 「FD の組み付け」項目に従って FD をフレームに取り付けます。

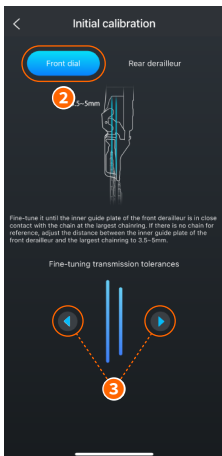
- プリフターの変速ボタンを操作して、FD をアウターギア位置、RD をトップギア位置に動かします。

- FD のガイドプレート位置調整ネジを 2mm の六角レンチで回して、アウターチェーンリングが左右のガイドプレートの真ん中辺りになるように調整します。

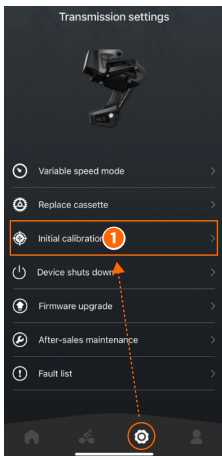
※ガイドプレート位置調整ネジの緩め過ぎにご注意ください。ネジの緩みが気になる場合は、低強度の緩み止め (ロックタイト 222 など) を塗布してください。



- ① トランスミッション設定画面の初期校正 (Initial calibration) をタップします。

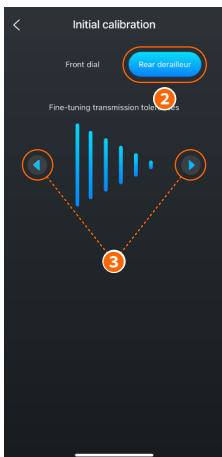


- ② 画面上部の FD(Front dial) をタップして FD 位置の微調整を行います。
- ③ 左右の青い△をタップして、アウターギアと FD のインナーガイドプレートの隙間が 3.5 ~ 5mm になるように調整してください。

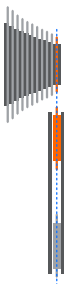


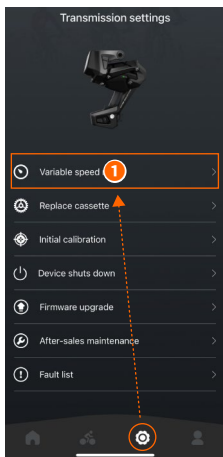
RD の初期校正 (原点調整)

- 「RD の組み付け」項目に従って RD をフレームに取り付けます。
- プリアクターの変速ボタンを操作して、FD をアウターギア位置、RD をトップギア位置に動かします。
- RD のトップギア側リミットネジとローギア側リミットネジを緩め、ネジの先端が当たっていないことを確認します。
- ① トランスミッション設定画面の初期校正 (Initial calibration) をタップします。



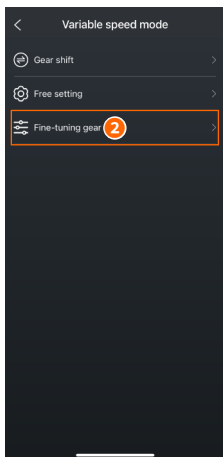
- ② 画面上部の RD (Rear derailleur) をタップして RD 位置の微調整を行います。
- ③ 左右の青い△をタップして、RD のガイドプーリーがスプロケットのトップギアの真下になるように調整してください。





FD の停止位置調整 (変速調整)

- ① トランスミッション設定画面の各種変速設定 (Variable speed mode) をタップします。



- ② 変速調整 (Fine-tuning gear) をタップします。



1 File : アウター強制変速停止位置

インナーギアからアウターギアに変速する際、FD 変速ボタンを長押ししている間の FD 停止位置です。長押しを離すと正規位置に移動して止まります。

インナー側 (4または5File の位置) からアウタートリム位置に変速する際、チェーンがアウターギアに変速し切らない場合にアウタートリム位置よりも外側に FD をオーバーシフトさせて強制的に変速させます。

この数値は通常2File と3File の間の数値に設定します。

2 File : アウター停止位置

FD がアウターギアで、かつ RD がトップギア寄りにある時の FD 停止位置です。

3 File : アウタートリム停止位置

FD がアウターギアで、かつ RD がローギア寄りにある時の FD 停止位置です。

4 File : インナートリム停止位置

FD がインナーギアで、かつ RD がトップギア寄りにある時の FD 停止位置です。

5 File : インナー停止位置

FD がインナーギアで、かつ RD がローギア寄りにある時の FD 停止位置です。

6 File : インナー強制変速位置

アウターギアからインナーギアに変速する際、FD 変速ボタンを長押ししている間に停止する位置です。長押しを離すと正規位置に移動して止まります。

- アウター側 (2または3File の位置) からインナートリム位置に変速する際、チェーンがインナーギアに変速し切らない場合にインナートリム位置よりも内側に FD をオーバーシフトさせて強制的に変速させます。
- それぞれのギア位置において、チェーンと FD ガイドプレートが強く接触しないように数値を微調整してください。
- 数字を小さくすると FD 停止位置が外側 (アウターギア側) に移動し、数字を大きくすると FD 停止位置が内側 (インナーギア側) に移動します。

※数値を大きく変更しなければならない場合は、初期校正 (原点調整) が設計位置とズレている可能性があります。その場合は FD の初期校正 (原点調整) からやり直してください。

※恣意的に極端な数値に変更したことで発生したディレラーの故障は保証対象外となります。数値変更後はその数値が適正であることを確認した上で動作させてください。

FD の可動範囲制限

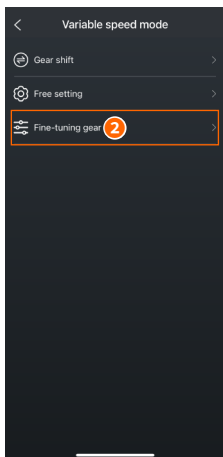
- FD の停止位置調整 (変速調整) が完了したら、リミットネジを締めて可動範囲を制限します。
- FD をアウターギア停止位置 (2File) にして、その状態で 1.5mm の六角レンチでアウターギア側リミットネジを先端が当たるところまで締めてください。

※インナーギア側は電子的に可動範囲制限が掛かっているため、リミットネジ調整はありません。



RD の停止位置調整 (変速調整)

- ① トランスミッション設定画面の各種変速設定 (Variable speed mode) をタップします。



- ② 変速調整 (Fine-tuning gear) をタップします。



それぞれの File は各変速段数での RD の停止位置を示しており、数値を調整することで変速調整を行います。

表示される File 数は、変速段数の設定で選択した変速段数に準じます。

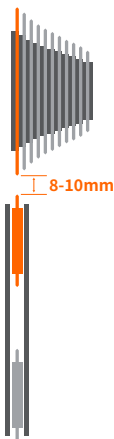
- それぞれのギア位置において、異音やもたつきがなく正しく変速するように数値を微調整してください。
- 数字を小さくすると RD 停止位置が外側 (トップギア側) に移動し、数字を大きくすると RD 停止位置が内側 (ローギア側) に移動します。

※数値を全体的に大きく変更しなければならない場合は、初期校正 (原点調整) が設計位置とズレている可能性があります。その場合は RD の初期校正 (原点調整) からやり直してください。

※恣意的に極端な数値に変更したことで発生したディレーラーの故障は保証対象外となります。数値変更後はその数値が適正であることを確認した上で動作させてください。

※File 毎の数値間隔は均等である必要はありません。正しく変速することを優先して数値を決定してください。

- **変速調整例1**：トップギア4段目から5段目に変速する際に、5段目に変速はするが4段目のスプロケット歯とチェーンが当たって音鳴りがする。
 ➔ 5File の数値を10~20程度大きくし、調整結果を観察する。
- **変速調整例2**：トップギア4段目から5段目に変速する際に、変速ボタンは1回しか押していないのに5段目を飛ばして6段目に変速してしまう。
 ➔ 5File の数値を30~40程度小さくし、調整結果を観察する。



RD とスプロケットの隙間調整

- ① FD をインナーギア、RD をローギア (最大ギア) にします。
- ② RD のテンション調整ネジを 3mm の六角レンチで回して、ガイドプーリーとスプロケット最大ギアの歯先の隙間が 8~10mm 程度になるように調整してください。

RD の可動範囲制限

- RD の停止位置調整 (変速調整) が完了したら、リミットネジを締めて可動範囲を制限します。
- RD をトップギア停止位置 (最小ギア) にして、その状態で 2mm の六角レンチでトップギア側リミットネジを先端が軽く当たるところまで締めてください。
- RD をローギア停止位置 (最大ギア) にして、その状態で 2mm の六角レンチでローギア側リミットネジを先端が軽く当たるところまで締めてください。

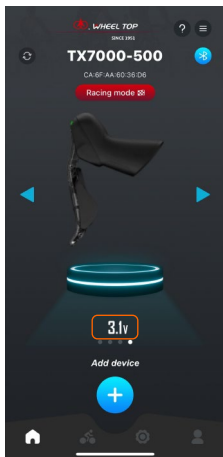


バッテリー残量確認

APP のホーム画面で各デバイスのバッテリー残量 (パーセンテージもしくは電圧) を確認できます。

- ① 表示デバイスの切り替えはデバイスの左右にある青い△をタップしてください。







変速モード切替 (TX のみ)

RD の変速動作スピードはレースモードとカジュアルモードの 2 つから選択できます。(FD の変速動作スピードは変わりません)

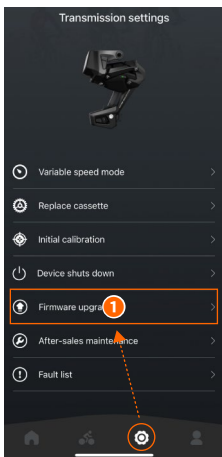
レースモード (Racing mode) : 変速動作スピード速い / 消費電力大きい

カジュアルモード (Casual mode) : 変速動作スピード遅い / 消費電力小さい

- ① ホーム画面の変速モードボタンをタップします。



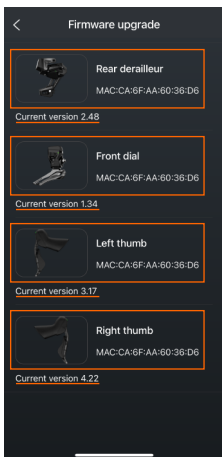
- ② 変速モードを選択します。



ファームウェアのアップグレード

動作の最適化・安定化のため、ファームウェアは常に最新の状態を保ってください。

- ① トランスミッション設定画面のファームウェアアップグレード (Firmware upgrade) をタップします。



- ② それぞれのデバイスのファームウェアが最新か確認し、最新でない場合はそのデバイスをタップしアップグレードします。

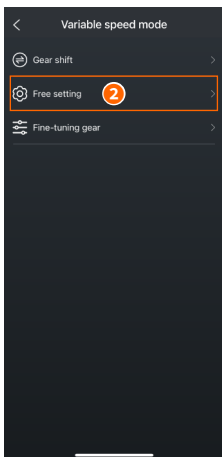


スイッチ配置変更

EDS TX の変速ボタン機能は「FD シフトアップ/ダウン」、「RD シフトアップ」、「RD シフトダウン」の3つです。

この機能3つをお好みの変速ボタン位置に割り当てることが可能です。

- ① トランスミッション設定画面の各種変速設定 (Variable speed mode) をタップします。



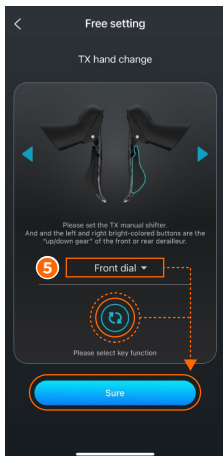
- ② 変速ボタン設定 (Free setting) をタップします。



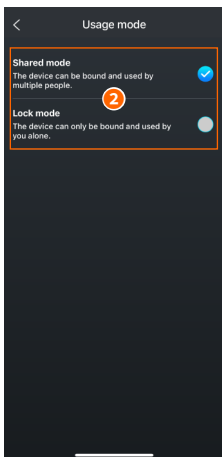
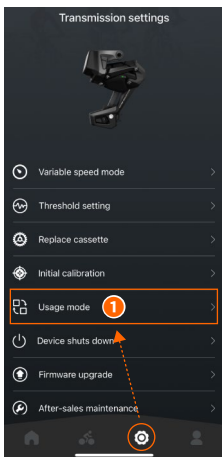
- ③ 右レバー大ボタン (手前側) に機能を割り当てます。FDorRD、機能を選択し決定 (Sure) を押してください。



- ④ 右レバー小ボタン (奥側) に機能を割り当てます。FDorRD、機能を選択し決定 (Sure) を押してください。



- ⑤ 左レバーボタンに機能を割り当てます。
FDorRD、機能を選択し決定 (Sure) を押してください。
- ⑥ 機能割り当て後、実際にプリフターのボタンを操作して設定通りに動作するか確認してください。



使用モードの切り替え

デバイスシステム登録時に選択した使用モードを切り替えられます。

使用モードは、メインアカウントのみ変更が可能です。

※メインアカウント以外ではこの項目は表示されません。

- ① トランスミッション設定画面の使用モード (Usage mode) をタップします。
- ② シェアリングモードかロックモードを選択します。

シェアリングモード (Shared mode)：メインアカウント以外のアカウントも接続できます。

ロックモード (Lock mode)：メインアカウント以外は接続できません。

※ロックモードのまま紐付けられた APP アカウントに入れなくなった場合 (スマートフォンを紛失したり APP のログインパスワードを忘れた場合)、ロックモードが解除できず他のアカウントからもアクセスできないため、APP を通した設定が一切できなくなります。もしそのような状態になった場合は、メーカーでのメインアカウント解除作業が必要となります。

※メインアカウントが APP でデバイスのペアリングを解除する (またはアカウントが削除される) と、次にペアリングするアカウントがメインアカウントになります。

※シェアリングモードで登録されたデバイスの場合、メインアカウントが APP でデバイスのペアリングを解除すると、シェアリングモードでペアリングされた他のすべてのアカウントもペアリングが解除されます。



- 充電ポートのカバーを外し、充電ケーブル端子の向きに注意して接続します。

※充電ポートや充電ケーブル端子が乾いていることを確認してください。また充電中に濡れないように気をつけてください。

※端子の向きが間違っていると磁極が反発し接続できません。



- ディレラーのバッテリーインジケータランプが赤く点灯していることを確認してください。

- ディレラーのバッテリーインジケータランプが消灯したら充電が完了しているので、充電ケーブルを取り外してください。

※6 時間以上充電してもインジケータランプが消灯しない場合は、直ちに充電を中止し、アフターサービスにご連絡ください。

- 充電ポートのカバーを確実にはめてください。

※充電中はプリフターの変速ボタンを押してもディレラーは動作しません。



- ブラケットフードをめくり、硬貨などを使ってバッテリーカバーを「OPEN」の方向に回して外します。

- 先の細い工具などを使って、コイン電池を取り外します。

- 新しいコイン電池 (CR2032) を入れ、ステータスインジケータランプが光ることを確認してください。

※プリフターがペアリング済みの場合、青で数回点滅後、緑に光ります。

- バッテリーカバーを「△」印の位置を合わせて嵌め、硬貨などを使って閉めます。

※防水用 O リングの噛み込みに注意してください。

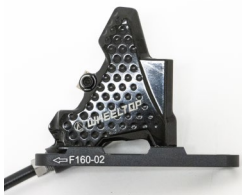
- ブラケットフードを元に戻してください。

※製品に付属するコイン電池は、テスト用のため電圧が低い場合があります。



- レバー内側の付け根にあるリーチアジャストネジを 2mm の六角レンチを使って回してください。
- ネジを右に回すとレバーが遠ざかり、左に回すとレバーが近づきます。

※リーチアジャストネジは一番左に回した状態から絶対に 4 回転以上は右に回さないでください。



ブレーキローターサイズに合わせてキャリパーアダプターを取り付けます。

前ブレーキキャリパー

ローター径 140mm の場合

付属のフロントブレーキキャリパーアダプターを「F140-02」と印字された矢印が上に向くように付属の皿ネジを使ってブレーキキャリパーに取り付けてください。(締め付けトルク 6 ~ 8Nm)

ローター径 160mm の場合

付属のフロントブレーキキャリパーアダプターを「F160-02」と印字された矢印が上に向くように付属の皿ネジを使ってブレーキキャリパーに取り付けてください。(締め付けトルク 6 ~ 8Nm)

後ブレーキキャリパー

ローター径 140mm の場合

ブレーキキャリパーアダプターは使用しません。

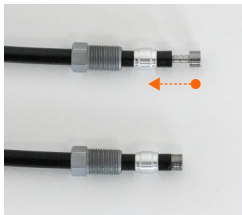
ローター径 160mm の場合

付属のリアブレーキキャリパーアダプターを「R160-01」と印字された矢印が前に向くように付属の皿ネジを使ってブレーキキャリパーに取り付けてください。(締め付けトルク 6 ~ 8Nm)

- バイクに合わせてホースの長さを決め、切断します。

※切断面がホースに対して直角(90度)になるように注意してください。

※ハンドルを切った際にブレーキホースが強く引っ張られないようにホース長さを調整してください。



- ホース固定ネジ、オリーブをホースに差し込みます。

- コネクターインサートを圧入します。

※ホース端面とコネクターインサートが密着するところまで圧入してください。

- オリーブとホース固定ネジのネジ部にグリスを少量塗布します。

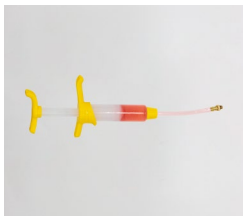


- プリフターのオイルキャップを取り外し、ホース差込口の奥までしっかりとホースを差し込みます。

- ホースを押し込みながらホース固定ネジを手で軽く締め、その後8mmのオープンレンチを使って締め付けます。(締め付けトルク 8 ~ 10Nm)

※接続する左右プリフターと前後ブレーキキャリパーの組み合わせにご注意ください。

※ホース交換する際は、ブレーキキャリパー側のホース接続も同様に行ってください。



【準備】

- オイルポートアダプター (ブレーキキャリパー用) とチューブをシリンジに組み付けます。
- シリンジの 1/3 程度までミネラルオイルを吸い取ります。



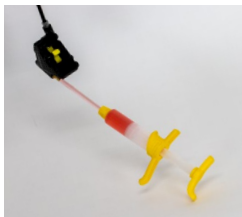
- ブレーキパッドを取り外し、ピストンブロックを組み付けます。



- ブリフターのブラケットフードをハンドル側からめくり (後部から前方に向かって)、T10 トルクスレンチでオイルポートカバーネジと O リングを取り外し、付属のファンネル (漏斗) アダプターを手でねじ込みます。



- ファンネルをファンネルアダプターに組み付けます。
- ファンネルにオイルストッパーピンを差し込んだ状態で、ファンネルの 1/3 程度までミネラルオイルを注ぎます。



- 2.5mm の六角レンチでブレーキキャリパーのオイルポートカバーネジと O リングを取り外し、「準備」で用意したシリンジを組み付けます。

※オイルポートカバーネジを取り外すとミネラルオイルが出てきますのでご注意ください。

- ファンネルのオイルストッパーピンを取り外します。
- シリンジのピストンを押したり引いたりし、ブレーキシステム内の気泡を排出します。

※ファンネルから空気を吸い込まないように注意してください。

- 気泡が出なくなったらブレーキレバーを握って手応えを確認し、問題なければファンネルにオイルストッパーピンを差し込みます。
- ブレーキキャリパーのオイルポートを上に向けてながらオイルポートアダプターごとシリンジを取り外します。
- オイルを溢れさせながらブレーキキャリパーのオイルポートカバーネジと O リングを取り付けます。(締め付けトルク 4 ~ 6Nm)
- ファンネルアダプターごとファンネルを取り外します。
- オイルを溢れさせながらブリフターのオイルポートカバーネジと O リングを取り付けます。(締め付けトルク 4 ~ 6Nm)

- オイルポート付近のオイルをしっかりと拭き取ります。

- ブレーキキャリパーからピストンブロックを取り外し、ブレーキパッドを組み付けます。

※ミネラルオイルは SHIMANO 製をご使用ください。

※ブレーキパッド、ブレーキローターに油分が付着しないように注意してください。

※ブレーキローターに油分が付着した場合は、パーツクリーナーなどでしっかりと脱脂してください。

※ブレーキパッドが油分で汚染された場合は、新品のブレーキパッドに交換してください。

※ブリフターの角度を変えながら作業すると気泡が排出されやすくなります。

- 付属のキャップボルトを使ってフロントブレーキキャリパーをフロントフォークに取り付けます。(締め付けトルク 6 ~ 8Nm)

- 付属の長いキャップボルトを使ってフレームにブレーキキャリパーを取り付けてください。(締め付けトルク 6 ~ 8Nm)

- ホイールを回してブレーキローターとブレーキパッドの接触を確認します。接触している場合は再度ネジを緩めてブレーキキャリパーの位置を調整した上でネジを締め直してください。

- 3mm の六角レンチでブレーキパッド固定ネジを外し、ブレーキパッドを抜き取ります。

- 交換用のブレーキパッドは、**WHEELTOP 純正、もしくは同形状の SHIMANO 製**をご使用下さい。

※WHEELTOP 純正ブレーキパッドはレジンパッドです。

※ブレーキパッドとブレーキローターの互換性にご注意ください。

- 新しいブレーキパッドを組み付け、ブレーキパッド固定ネジを締めます。(締め付けトルク **4 ~ 5Nm**)

WHEELTOP 日本代理店
ホダカ株式会社

埼玉県越谷市流通団地 1-1-9

TEL : 048-985-2000(代)

FAX : 048-985-1959(代)

受付時間

月曜日～金曜日(祝日、当社休日を除く)

10:00～12:00、13:00～16:00